

「災害時における電源確保に関するアンケート」のご周知とご協力をお願い

この度、一般社団法人電源ドナー協会からの依頼を受け、NPO 法人自立支援センターおおいたでは、医療的ケアを必要とする方やそのご家族等を対象に「災害時における電源確保に関するアンケート」を実施いたします。

近年、地震や台風、豪雨等の自然災害が各地で発生しており、災害に伴う長時間の停電への備えが重要となっております。特に、人工呼吸器、吸引器、酸素濃縮器など、日常的に電源を必要とする医療機器を使用している方にとって、停電は生活上の不便だけではなく、生命や健康に直接影響する可能性があります。

また、非常用電源を準備していても、停電が長時間に及んだ場合には電源が不足する可能性があります。さらに、医療機器を使用しながらの避難や移動、介助者の確保、真夏・真冬の冷暖房など、実際の災害時には様々な課題が生じる事が考えられます。

本アンケートでは、医療的ケアを必要とする方やそのご家族等が、現在どのような備えをしているのか、停電が発生した際にどのような不安や課題があるのか、また、どのような電源支援や地域の仕組みが必要とされているのかについて、実際の状況やご意見をお伺いします。

いただいた回答は、地域における給電拠点の整備や、自宅からの移動が困難な方への支援、非常用電源の確保など、災害時の電源確保や必要な支援の仕組みを検討するための基礎資料として活用いたします。

1.患者・ご家族・支援者の皆様へ

日常的に電源を必要とする医療機器を使用されている方、そのご家族・支援者の皆様には、ぜひアンケートへの回答にご協力をお願いいたします。

実際に生活されている皆様だからこそ分かる、災害や停電への不安、現在の備え、避難や移動の難しさ、「このような支援があれば安心できる」といったご意見をお聞かせ下さい。

2.行政・医療・福祉関係機関の皆様へ

行政機関、相談支援事業所、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）、訪問看護事業所をはじめとする関係機関の皆様におかれましては、本アンケートの趣旨をご理解いただき、対象となる方への周知にご協力いただきますようお願いいたします。特に、人工呼吸器、吸引器、酸素濃縮器など、日常的に電源を必要とする医療機器を使用されている方やそのご家族等へ、本アンケートをご案内いただけますと幸いです。

アンケート回答・提出について

2026 年 9 月 30 日（水）までに、ご記入いただいたアンケートを下記の事務局へメールまたは FAX にて下記提出下さい。

事務局

NPO 法人自立支援センターおおいた 担当：押切

メール：masato.oshikiri@jp700.com

FAX：0977-24-4924

災害時における電源確保に関するアンケート

1. 背景と課題

近年、地震や台風、豪雨等の自然災害が各地で発生しており、災害に伴う長時間の停電への備えが重要となっています。

特に、人工呼吸器、吸引器、酸素濃縮器など、日常的に電源を必要とする医療機器を使用している方にとって、停電は生活上の不便だけではなく、生命や健康に直接影響する可能性があります。

各家庭で予備バッテリーやポータブル電源等を準備していても、停電が長時間に及んだ場合には電源が不足する事が考えられます。また、災害時には道路状況や介助者の確保、医療機器を使用しながらの移動などの問題から、電源を確保できる場所があっても、そこまで移動する事が難しい方もいます。

その為、地域における災害時の電源確保を考える上では、医療的ケアが必要な方が現在どのような備えをしているのか、停電がどの程度続くと電源確保が難しくなるのか、また、どのような方法であれば実際に電源支援を受ける事ができるのかを把握する必要があります。

2. 目的

今回、一般社団法人電源ドナー協会からの依頼を受け、NPO 法人自立支援センターおおいだが、医療的ケアを必要とする方を対象に「災害時における電源確保に関するアンケート」を実施します。

本アンケートは、日常的に電源を必要とする医療機器を使用している方が、災害等による停電に対してどのような備えをしているのか、また、停電が長時間に及んだ場合にどのような不安や課題が生じ、どのような支援を必要としているのか、その実態を把握する事を目的としています。

アンケートを通じて、現在の非常用電源の備えや停電時に電源を確保できる時間、医療機器を使用しながらの移動の可否、給電支援に対するニーズなどを把握し、地域における給電拠点の整備や、自宅からの移動が困難な方への支援など、災害時の電源確保の仕組み作りを検討する為の資料として活用します。

皆様の実際の状況やご意見を今後の取組に繋げていく為、アンケートへのご協力をお願いいたします。

3. 回答方法

各質問について、当てはまる項目の「□」にチェックを入れて下さい。「複数回答可」と記載している質問については、当てはまる項目全てにチェックを入れて下さい。

I.回答者と生活状況について

Q1.アンケートを回答される方を教えてください。

☐本人 ☐家族 ☐支援者 ☐その他（ ）

Q2.医療的ケアを必要とする方の年代を教えてください。

☐0～6 歳 ☐7～17 歳 ☐18～39 歳 ☐40～64 歳 ☐65～74 歳 ☐75 歳以上

Q3.現在のお住まいを教えてください。

（ ）

Q4.現在の生活状況を教えてください。

☐一人暮らし ☐家族等と同居 ☐病院・施設 ☐その他（ ）

II.医療的ケアと使用機器について

Q5.日常的に必要としている医療的ケアを教えてください。【複数回答可】

☐人工呼吸器の使用 ☐気管切開の管理 ☐喀痰吸引 ☐在宅酸素療法 ☐経管栄養 ☐排痰補助
☐導尿 ☐その他（ ）

Q6.日常的に使用している電気機器を教えてください。【複数回答可】

☐人工呼吸器 ☐吸引器 ☐酸素濃縮器 ☐経管栄養ポンプ ☐排痰補助装置 ☐電動ベッド
☐エアコン ☐エアマット ☐意思伝達装置 ☐薬剤等を保管する冷蔵庫
☐その他（ ）

Q7.Q6のうち、停電時にも継続して電源が必要な機器を教えてください。【複数回答可】

☐人工呼吸器 ☐吸引器 ☐酸素濃縮器 ☐経管栄養ポンプ ☐排痰補助装置 ☐電動ベッド
☐エアマット ☐意思伝達装置 ☐薬剤等を保管する冷蔵庫 ☐その他（ ）

Q8.停電によって最も大きな影響を受ける機器を教えてください。

☐人工呼吸器 ☐吸引器 ☐酸素濃縮器 ☐経管栄養ポンプ ☐排痰補助装置 ☐電動ベッド
☐エアマット ☐意思伝達装置 ☐薬剤等を保管する冷蔵庫 ☐その他（ ）

Ⅲ.現在の停電への備えについて

Q9.現在、停電に備えて準備している備えについて教えてください。【複数回答可】

- ☐手動式人工呼吸器 ☐手動式吸引器 ☐医療機器の内蔵バッテリー ☐医療機器用の外部バッテリー
☐ポータブル電源 ☐家庭用蓄電池☐発電機 ☐自動車からの給電 ☐EV・PHEVからの給電
☐太陽光発電 ☐その他（ ） ☐特に準備していない

Q10.現在準備している電源だけで、停電後どの程度対応できますか？

- ☐1時間未満 ☐1～3時間 ☐3～6時間 ☐6～12時間 ☐12～24時間 ☐24～48時間
☐48～72時間 ☐72時間以上 ☐分からない

Q11.停電時を想定して非常用電源を実際に医療機器へ接続した事がありますか？

- ☐実際の停電時に使用した ☐訓練・試運転で使用した ☐準備しているが使用した事がない
☐接続方法が分からない ☐非常用電源を準備していない

Q12.停電時の非常用電源の使用方法を、本人以外の方も把握していますか？【複数回答可】

- ☐家族が把握 ☐ヘルパー等の支援者が把握 ☐訪問看護等の医療関係者が把握 ☐本人のみ把握
☐誰も把握していない ☐分からない

Q13.現在の停電への備えについて、どのように感じていますか？

- ☐十分に備えられている ☐ある程度備えられているが不安 ☐不十分だと思う ☐分からない

Ⅳ.停電が発生した場合について

Q14.停電した場合、どの程度の時間で生命や健康へ影響が生じる可能性がありますか？

- ☐直ちに影響する可能性がある ☐1時間以内 ☐1～3時間 ☐3～6時間 ☐6～12時間
☐12～24時間 ☐24時間以上 ☐分からない

Q15.停電時に不安に感じる事を教えてください。【複数回答可】

- ☐医療機器が停止する事 ☐バッテリーがなくなる事 ☐電源を確保できる場所が分からない事
☐給電できる場所まで移動するのが難しい事 ☐医療機器を持って移動するのが難しい事
☐介助者を確保できない事 ☐冷暖房が使用できない事 ☐薬剤等を保管できない事
☐スマートフォン等の通信手段が使用できなくなる事 ☐その他（ ）
☐特に不安はない

Q16.これまでに停電によって困った経験はありますか？

☐ある ☐ない

「ある」と回答された方は、困った事を教えて下さい。【複数回答可】

☐医療機器の電源確保 ☐バッテリーの不足 ☐移動手段の確保 ☐介助者の確保 ☐冷暖房の使用
☐停電、給電等に関する情報収集 ☐その他（ ）

V.停電時の移動について

Q17.停電時、医療機器を使用しながら自宅から移動する事はできますか？

☐1人で移動できる ☐家族等の介助があれば移動できる ☐ヘルパー等の介助があれば移動できる
☐福祉車両等があれば移動できる ☐複数人の介助があれば移動できる ☐移動する事ができない

Q18.避難や給電場所への移動が必要になった場合、何人程度の介助者が必要ですか？

☐1人 ☐2人 ☐3人 ☐4人以上 ☐状況によって異なる ☐分からない

Q19.真夏や真冬に停電が発生し、自宅で避難生活を続ける場合を想定した備えをしていますか？

☐十分に備えている ☐ある程度備えている ☐必要性は感じているが、十分に備えられていない
☐特に備えていない ☐どのような備えが必要か分からない

Q20.電源を確保できる給電場所があった場合、どの程度の距離までなら利用できると思いますか？

☐500m以内 ☐1km以内 ☐3km以内 ☐5km以内 ☐10km以内 ☐移動できない
☐分からない

VI.災害時に必要な電源支援について

Q21.災害時にどのような電源支援を希望しますか？【複数回答可】

☐自宅近くに給電拠点を設置してほしい ☐避難所等で医療機器の電源を確保してほしい
☐自宅まで電源を届けてほしい ☐ポータブル電源等を貸し出してほしい
☐給電拠点までの移動を支援してほしい ☐非常用電源の購入助成をしてほしい
☐電源や医療機器について相談できる窓口が欲しい ☐その他（ ）

Q22.地域に医療機器等への給電可能な「給電拠点」が整備された場合、利用したいと思いますか？

☐ぜひ利用したい ☐利用したい ☐条件が合えば利用したい ☐利用する事は難しいと思う
☐利用する必要はない ☐分からない

Q23.給電拠点には、どのような環境や設備が必要だと思いますか？【複数回答可】

- ☐24 時間利用できる ☐夜間も利用できる ☐医療機器への給電ができる ☐車椅子でも利用できる
- ☐医療機器のバッテリーやポータブル電源を充電できる ☐福祉車両で利用できる ☐駐車場がある
- ☐介助者と一緒に利用できる ☐利用できるトイレがある ☐冷暖房が整備されている
- ☐その他（ ）

Q24.災害時、利用可能な給電場所の情報をどのような方法で受け取りたいですか？【複数回答可】

- ☐自治体からのメール ☐LINE 等の SNS ☐自治体のホームページ ☐防災アプリ ☐電話
- ☐訪問看護事業所や福祉事業者等からの連絡 ☐その他（ ）

VII.その他

Q25.災害時の電源確保について、不安に感じている事や「このような支援があれば安心できる」と思う事がありましたら、ご自由にご記入下さい。

本アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

皆様からいただいたご回答やご意見は、医療的ケアを必要とする方が、災害や停電が発生した際にも安心して生活を継続できるよう、今後の給電拠点の整備や電源確保の仕組み、必要な支援を検討するための大切な基礎資料として活用させていただきます。

一人ひとりの状況や必要とする支援を踏まえ、災害時に必要な電源を確保できる地域作りに繋げていきたいと考えております。

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、心より御礼申し上げます。